

第三回 麦感謝祭

まんじゅう祈願まつり

昔よりの麦食文化と地域の伝統食を見直すと共に、日常の麦に感謝を!!

と き：平成 26 年 **9 月 27 日** (土) 10:00~15:30 (小雨決行)

と ころ：日高市 **高麗神社** (日高市新堀 833
☎042-989-1403)

- 内 容：
- ◆ 地元の「人気まんじゅう」「麦製品」等の販売 (地元業者)
 - ◆ 「まんじゅう開運祈願」(個人向：先着 50名)
 - ◆ 麦文化感謝講演会『埼玉の麦と祭り』(先着 50名)

講師：埼玉県神社庁 学芸員 高橋寛司先生

- ◆ 巫女舞 / 高麗美舞体操

③詳しくは、裏面のプログラム・スケジュール表をご覧ください。



まんじゅう開運祈願された方には、「特別御守札」と「祈願まんじゅう」をお渡します。

ぜひ、人気のおまんじゅうで開運祈願してください。



※高麗神社では、9月~11月の3ヶ月間「高麗郷文化フェスティバル」と題して、様々な行事が開催されます。



巾着田まんじゅう



味噌付けまんじゅう



ワッフル・クッキー・ドーナツ

※日高市の巾着田では、9/20~10/5の期間に「曼珠沙華まつり」が予定されています。



麦茶・狭山茶



各種パン類



玄うどん

主催：麦文化感謝まつり実行委員会

(高麗郡建郡 1300 年記念事業委員会 / 高麗神社)



2016年

後援：日高市、日高市観光協会、日高市国際交流協会、日高ロータリークラブ、日高武蔵ライオンズクラブ、日高市商工会、
在日本大韓国民団埼玉県地方本部、渡来文化を考える会、高麗郷歴史散歩の会、飯能日高テレビ、文化新聞社、
飯能信用金庫、花と音楽の集い (日高市:高麗神社、飯能市:秩父御嶽神社、飯能市:観音寺、坂戸市:慈眼寺、青梅市:正福寺)

麦感謝祭「まんじゅう祈願まつり」プログラム

※都合によりプログラム内容等は変更になる場合がございます。

10:00 ~ 15:30	<ul style="list-style-type: none"> ● 地元「人気まんじゅう・麦製品等」即売（神社境内） ※地元製造業者（数社）による名物食材を使った製品等を販売
11:00 / 13:45	<ul style="list-style-type: none"> ● 巫女舞「浦安の舞」^{ひぐらさん}（神楽殿）（各20分 2回）
11:30 ~ 12:00	<ul style="list-style-type: none"> ● 宮司による高麗神社入門（境内説明 30分）
12:15 / 15:00	<ul style="list-style-type: none"> ● 『高麗美舞体操披露』（女子栄養大学）（約20分 2回 神楽殿前）
10:40 ~ 11:00	<ul style="list-style-type: none"> ● <業者向>「麦製品商売繁盛祈願」（本殿前の^{ほらいど}祓所） ※まんじゅう及び麦製品を祭壇に献上し、業者参列のもと商売繁盛祈願を行います。
12:00 ~ 12:45	<ul style="list-style-type: none"> ● <個人向まんじゅう開運祈願希望者> 受付 ^{ほらいど}（祓所協） ※希望する方は、玉串料（お気持ち）を添えて受付してください。 （先着 50名）
13:00 ~ 13:30	<ul style="list-style-type: none"> ● <個人向>「まんじゅう開運祈願」（本殿前の^{ほらいど}祓所） ※おまんじゅうを祭壇に陳列し、祈願者参列のもと開運祈願を行います。 終了後に番号札と交換で、祈願まんじゅうと特別御守札をお渡しします。
13:45 ~ 15:00	<ul style="list-style-type: none"> ● 「麦文化感謝講演会」 参加無料：先着 50名（客殿1階） <ul style="list-style-type: none"> ● 13:45 開会：主催者あいさつ ● 13:50 麦文化講演会「埼玉と麦の祭り」 講師：埼玉県神社庁 学芸員 高橋寛司先生 ● 15:00 閉会



麦のミニ知識です



トライ君®

- 日本に、大陸より麦が伝来したのは弥生時代であると言われています。奈良時代には、既に五穀の一つとして麦が重要視され、水田の裏作として作られるようになりました。日本人にとって麦はお米と共に、昔より大切な食物でした。
- 麦の種類には、小麦、大麦、エンバク、ライ麦などがありますが、日本人の食生活に深く関わりがあるのは、小麦（うどん・まんじゅう・パン・ケーキ・クッキー他）と大麦（みそ・しょう油・ビール・ウイスキー・麹他）です。特に江戸時代の農民はお米でなく、大麦のむぎめしを主食にしていました。さらに、埼玉県は昔より麦作県であり、そのため現在も県北部では特産物として小麦食文化（うどん）の取組みが行われています。
- 県南西部でも、やはり昔は麦作が盛んで、古くからの伝統行事食として「朝まんじゅうに昼うどん」という言葉があり、今でも「うどん・まんじゅう」が語り継がれています。
日高市の高麗神社では、昔は「氏子の農家がムギバツ（麦の初穂）を神饌として供えるか、さらに小麦の製品をお供えした」と言われています。

問合せ先

高麗郡建部 1300年記念事業委員会・事務局 ☎042-978-7432

高麗神社・社務所 ☎042-989-1403